



美しく色づいたみかん(金沢区 柴シーサイド恵みの里)

- 農政活動協力金の御礼(御報告)
- 委員紹介
- 市長への意見提出
- 視察研修報告(中央・南西部)
- 横浜市からのお知らせ

令和7年度農政活動協力金の御礼(御報告)

神奈川県農業会議の農政活動協力金につきましては、今年度も多くの皆様に御協力いただき、誠にありがとうございました。本協力金は、県農業会議の農政対策活動に充てられるとともに、横浜市農業委員会連合会にも助成金として交付され、本紙の発行等に活用させていただいております。今後も、農業の振興に向け関係団体と連携し、委員会活動の一層の推進に努めて参ります。

中央農業委員会
1,581,100円

南西部農業委員会
1,020,600円



令和6年度横浜市農業委員会連合会決算

収入	当年度小計	2,016,844	(会費、協力金等)
	前年度繰越	4,243,010	
		(単位:円)	合計 6,259,854

支出	当年度小計	1,657,826	
	事務費	122,592	(消耗品代等)
	会議費	106,454	(会場借上げ代等)
	事業費	1,282,405	(農委だより発行代等)
	分担金	10,715	(県農業会議会費)
	雑費	135,660	(委員会関係用品代等)
	次年度繰越	4,602,028	

(単位:円) 合計 6,259,854

委員紹介

凡例	(委員会名) 氏名
	【農】 農業委員
	【推】 農地利用最適化推進委員
	①主な営農地域 ②主な作物 ③ひとこと

中央 守谷 弘【農】

- ①保土ヶ谷区上菅田町
- ②露地野菜
- ③近年の社会情勢の変化とともに、都市農業を継続していくことの難しさ、厳しさが増えています。農家の高齢化や後継者不足のために離農する人も増えています。農業者の皆さんの声を聞きながら、その解決策を模索していきたいと考えています。



中央 佐藤 孝春【推】

- ①旭区市沢町
- ②露地野菜・果樹
- ③私が担当する地区は、都市化が進み農地が減少するとともに農業者の高齢化や後継者不足のため、遊休化する農地が増加しています。農地利用最適化推進委員として農業者の声を聞き少しでも力になれるよう努めていきたいと考えています。



中央 新川 和生【推】

- ①旭区今宿南町
- ②露地野菜・果樹
- ③仲間と一緒に地産地消に取り組んでいます。恵の里で行う収穫体験などで参加者の笑顔を見ると、やりがいと「農」の大切さを感じます。時代とともに農業を取り巻く環境は変わりますが、どんな時代でも農地も農業者も大切であると考えています。



中央 森 正明【推】

- ①青葉区市ケ尾町
- ②露地野菜・水稻
- ③家業を引継ぎ就農して10年目になります。多品種少量栽培で軒先にて直売を行うとともに横浜農協の直売所に出荷しています。後継者問題など都市農業のありかたについて皆様とともに考え、少しでもお役に立てるよう努力したいと思います。



南西部 廣瀬 豊【農】

- ①瀬谷区中屋敷
- ②露地野菜
- ③2027年開催予定の国際園芸博覧会をきっかけに、瀬谷北部は大きく変わろうとしています。広大な農専地区もかなり縮小されてしまいますが、様々な整備がなされ、新たな農業の形が生まれるものと期待しています。



南西部 相澤 藤雄【推】

- ①瀬谷区阿久和西
- ②露地野菜
- ③高齢化による農業経営の継続困難や担い手不足などの問題が深刻化しています。それらの課題に向き合いながら、農地の有効活用と地域農業の持続に向けて、農地利用最適化推進委員として取り組んでまいります。

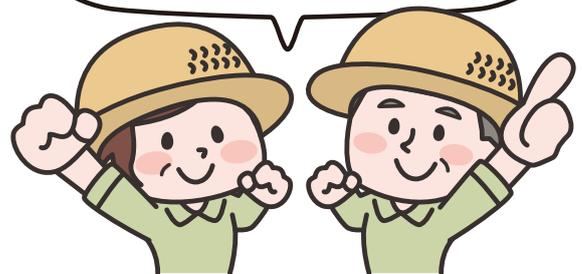


南西部 小川 正寿【推】

- ①瀬谷区宮沢
- ②露地野菜
- ③農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化、後継者不足、気候の問題など、年々厳しくなるばかりです。その中でも、地域の農家の声に耳を傾け、少しでも農地が適正に管理、利用されるよう、尽力して参ります。



新体制がスタートしましたら、
また御紹介いたします。
御期待ください。



第50号から今号までで、農業委員・農地利用最適化推進委員の全員を御紹介いたしました。
引き続き、よろしくお願いたします。



農業委員会の活動紹介

山中市長に「横浜市農業施策に関する意見」を提出



山中市長に意見を提出した農業委員会連合会理事

横浜市農業委員会連合会は、令和7年10月30日に山中竹春横浜市長を訪問し、「令和8年度横浜市農業施策に関する意見」の要望書を提出しました。連合会からは5名の理事が出席し、農業に関する様々な課題を解決していくため、都市農業の更なる振興や発展に関する要望を届けました。山中市長からは、身近な場所で農業が営まれ、市民の皆様には新鮮な農畜産物が届けられている横浜の都市農業は、たいへん素晴らしいものであり、皆さんの御苦労や御努力があったからこそ発展してきたもの、と感謝のお言葉がありました。また、安全安心な農作物を供給し続けていただくためには、安定して農業に取り組める環境を作っていく必要があります、農業委員会の皆様と御一緒に、力を尽くしていくとのコメントがありました。

主な意見

有害鳥獣対策への補助、野焼きの必要性の周知、食の安全・安心を守るための政策、農地への無断進入や不法投棄等の被害対策、物価高騰に伴う支援 など

※紙面の都合上、一部を要約しています

最新の農業資機材の展示会を視察！《中央農業委員会》

中央農業委員会では、スマート農業などの最新技術に直接触れ今後の委員活動に生かしたいと、令和7年10月1日に幕張メッセ（千葉県）で開催された第15回 農業WEEKを視察しました。

初めに、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」とスマート農業技術に関する講演会に参加し、農業の生産性向上や環境負荷低減等に資する技術について、国の取組状況や農業者が活用可能な施策等を学んだ後、農業資材、スマート農業製品などの5つのテーマ別の展示ブースを委員がそれぞれの視点で見学し、最新の資機材や研究について知る貴重な機会となりました。



視察研修会を実施！《南西部農業委員会》

南西部農業委員会では、委員会活動に必要な知識向上を目的に、令和7年10月1日に上瀬谷視察研修会を行いました。

「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」の概要説明では、整備予定の「農業振興地区」等の説明を受け、参加者からは「農産物の販路支援も期待したい」など多くの質問・意見がありました。現地の見学では、区画整理後の新たな農業振興策の検討について説明があり、より理解を深めることができました。

今回の研修により実践的な知識を得られ、参加者にとって非常に有意義な研修となりました。



大雨による土砂流出を防ぎましょう!!

台風やゲリラ豪雨により、土砂が畑から道路や側溝に流出する事案がたびたび発生し、トラブルの原因となっています。

こうした問題の発生を防止するため、農地所有者・耕作者の皆様には土砂の流出対策を実施していただきますようお願いいたします。

《事故やトラブルの原因になっています!》

- ◆ 道路上に流出した土砂は、車両や人の通行の支障となるだけでなく、側溝に詰まると排水不良になって道路に水が流出し、道路冠水やスリップ事故の原因となり大変危険です。
- ◆ 地形によっては、流出した土砂が宅地等に流入することもあり、思いがけないトラブルを引き起こす原因となります。



道路への土砂流出



グレーチングの詰まり

《農地の所有者(管理者)の責任が求められます!》

- ◆ 流出した土砂の片付けは、流出元の農地の所有者の責務です。
- ◆ 土砂の流出が原因で事故等が発生した場合、その農地の所有者が責任を問われるおそれがあります。土砂が流出してしまった場合は、速やかに撤去をお願いいたします。
- ◆ 道路に土砂が流出し、やむを得ず道路管理者(土木事務所や国道事務所など)が対応した場合、土砂撤去などの復旧費用を請求※される場合があります。

※道路法第58条(原因者負担金)に基づく費用請求
 ※復旧費用の詳細につきましては道路管理者にお尋ねください。

《土砂流出を防ぐためにできること》

- ★ 道路・側溝と畑の境に十分な畦畔を設けましょう!
- ★ 土のうや土砂流出防止柵などで土砂をせき止めましょう!
- ★ 大雨時は馬入れも足場板等で止めましょう!



馬入れ部を足場板で止めている様子

《横浜市の支援》

横浜市では、農地からの土砂流出対策のための補助事業※₁を実施しているほか、土留鋼板や土のう袋を無償で配布※₂しています。御相談の際は、農政事務所まで御連絡ください。

※₁ 補助事業の実施には要件があります。 ※₂ 配布個数には上限があります。

【連絡先】

横浜市北部農政事務所 TEL: 045-948-2480 (農業振興担当)
 横浜市南部農政事務所 TEL: 045-866-8493 (農業振興担当)
 (内容によって他部署を御案内させていただく場合があります。)

